

平成28年 畑作・野菜 病害虫発生情報 第11号

作物名：キャベツ（7月中旬）

県南地域でのコナガの発生は平年並、
ヨトウガ、アブラムシ類は平年よりやや少なく、
モンシロチョウ、タマナギンウワバは平年より多くなっています。

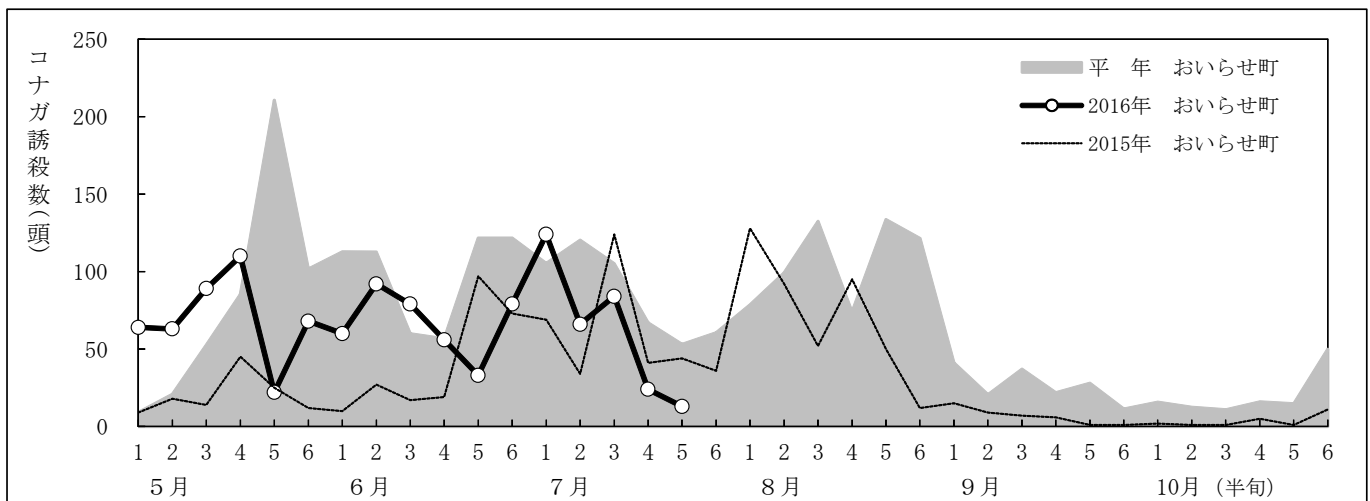
1. コナガ（発生量 県南地域…平年並）

10株あたり寄生数は平年並だが、発生地点率は平年より高かった。
一方、フェロモントラップにおける7月の誘殺数は概ね平年並に推移している。

巡回調査におけるコナガの食害状況

地域	調査時期	年次	調査地点	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	平均 (10株あたり寄生数)		
				甚	多	中	少		幼虫	蛹	計
県南	7月中旬	本年	10	0	0	0	90.0	90.0	4.1	1.5	5.6
		前年	15	0	0	0	60.0	60.0	1.1	0.1	1.2
		平年	15	1.5	0.7	6.3	63.4	71.9	4.2	1.0	5.2
	8月中旬 (参考)	本年	16	0	0	0	56.3	56.3	0.4	0.2	0.6
		前年	17	0.0	0.6	6.1	51.9	58.6	2.5	0.7	3.2
		平年	17	0.0	0.6	6.1	51.9	58.6	2.5	0.7	3.2

注) 発生程度：10株当たり寄生数 甚 101頭以上、多 100～41頭、中 40～11頭、少 10頭以下



性フェロモントラップによるコナガ雄成虫の誘殺消長

2. ヨトウガ（発生量 県南地域・・・やや少ない）

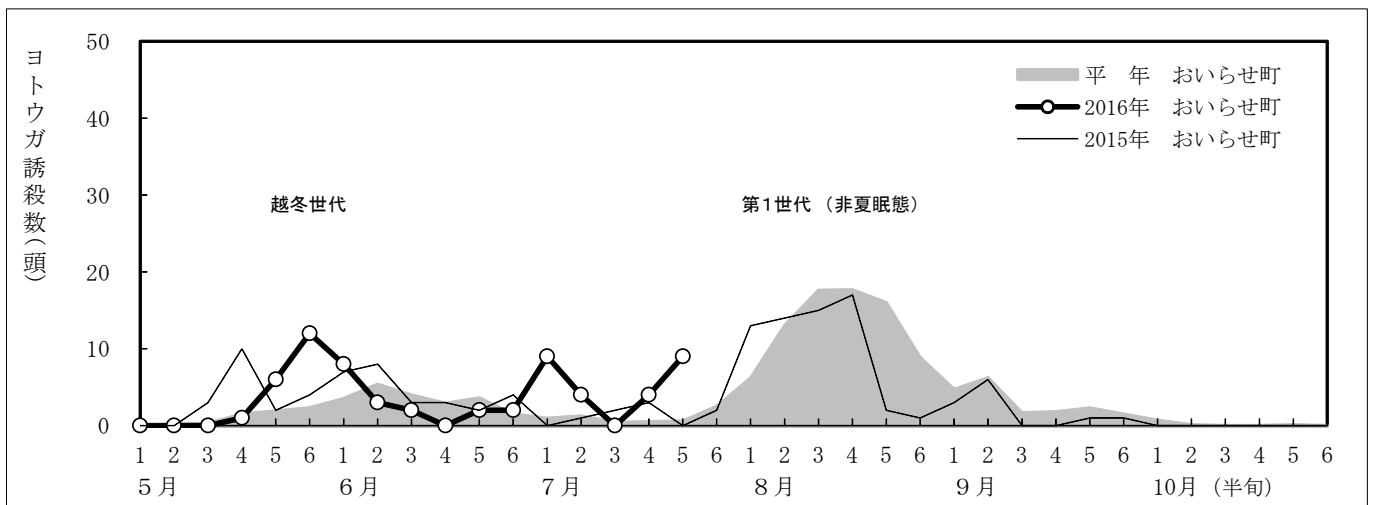
7月中旬の巡回調査において卵塊が1地点で確認された。

フェロモントラップでは7月1半旬にやや多い誘殺が認められ、その後は平年よりやや多く推移している。

巡回調査におけるヨトウガの食害状況

地域	調査時期	年次	調査地点	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (卵塊+幼虫%)	寄生株率 (%)	平均 (10株あたり寄生数)	
				甚	多	中	少			卵塊	幼虫
県南	7月中旬	本年	10	0	0	0	10.0	10.0	0.5	0.1	0.0
		前年	15	0	0	0	0	0	0	0	0
		平年	14	0	0	1.3	0	1.3	0.2	0	0.2
	8月中旬 (参考)	本年	16	0	0	0	18.8	18.8	0.6	0.1	0.0
		前年	17	2.9	11.2	16.6	27.7	58.4	2.6	3.4	5.6
		平年	17	2.9	11.2	16.6	27.7	58.4	2.6	3.4	5.6

注) 発生程度：10株当たり寄生数 甚 31頭以上、多 30～16頭、中 15～6頭、少 5頭以下



性フェロモントラップによるヨトウガ雄成虫の誘殺消長

3. モンシロチョウ（発生量 県南地域・・・多い）

発生地点率は平年より高く、10株あたり寄生数（卵、幼虫）も平年より多かった。

巡回調査におけるモンシロチョウの食害状況

地域	調査時期	年次	調査地点	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (幼虫 %)	平均 (10株あたり寄生数)	
				甚	多	中	少		卵	幼虫
県南	7月中旬	本年	10	0	0	10.0	50.0	60.0	4.8	1.3
		前年	15	0	0	0	40.0	40.0	1.3	0.6
		平年	14	0	0	0	28.5	28.5	1.8	0.4
	8月中旬 (参考)	本年	16	0	0	0	18.8	18.8	0.7	0.1
		前年	17	0	0.5	7.7	40.7	49.0	4.5	1.6
		平年	17	0	0.5	7.7	40.7	49.0	4.5	1.6

注) 発生程度：10株当たり寄生数 甚 31頭以上、多 30～16頭、中 15～6頭、少 5頭以下

4. タマナギンウワバ（発生量 県南地域・・・多い）

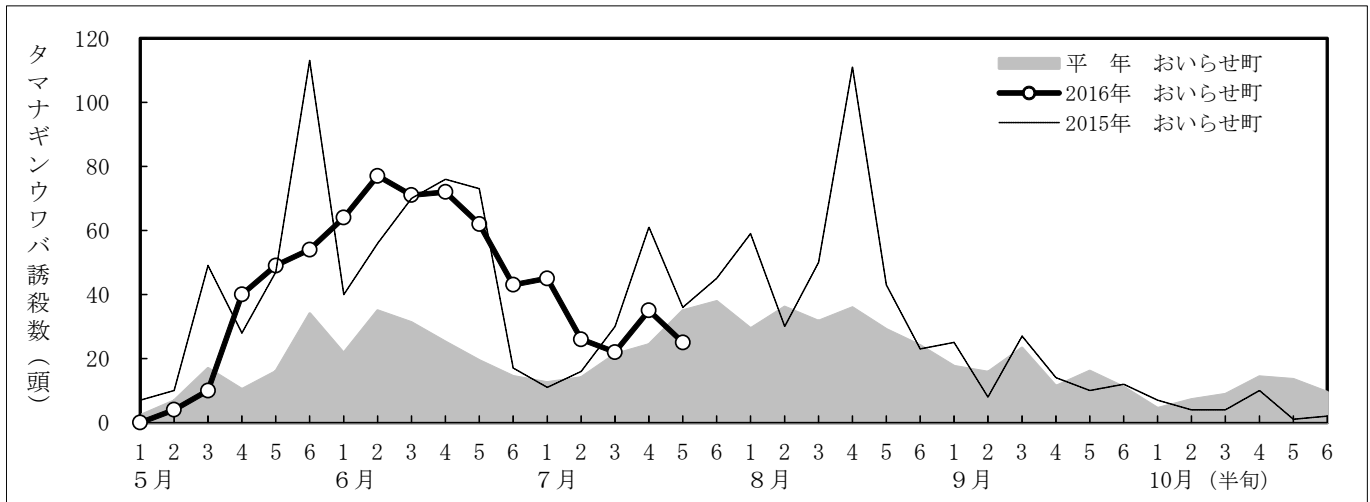
発生地点率は平年より高く、また10株当たり寄生数（卵、幼虫）も平年より多かった。

フェロモントラップにおける7月の誘殺数は平年より多く推移している。現在、次世代成虫の誘殺始めと推察される。

巡回調査におけるタマナギンウワバの食害状況

地域	調査時期	年次	調査地点	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (幼虫 %)	平均 (10株あたり寄生数)	
				甚	多	中	少		卵	幼虫
県南	7月中旬	本年	10	0	0	0	60.0	60.0	4.6	1.0
		前年	15	0	0	0	40.0	40.0	3.6	0.4
		平年	15	0	0	2.5	31.9	34.3	2.7	0.7
	8月中旬 (参考)	本年								
		前年	16	0	0	0	37.5	37.5	1.1	0.2
		平年	17	0	0	1.6	42.7	44.4	2.4	0.7

注) 発生程度：10株当たり寄生数 甚 31頭以上、多 30～16頭、中 15～6頭、少 5頭以下



性フェロモントラップによるタマナギンウワバ雄成虫の誘殺消長

5. アブラムシ類（発生量 県南地域・・・やや少ない）

発生地点率は平年並、寄生程度は平年よりやや低かった。

巡回調査におけるアブラムシ類の寄生状況

地域	調査時期	年次	調査地点	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	寄生程度	
				甚	多	中	少		寄生株率 (%)	寄生指数
県南	7月中旬	本年	10	0	0	0	30.0	30.0	7.0	2.1
		前年	15	0	0	0	60.0	60.0	11.3	3.3
		平年	15	0	0.9	5.5	28.1	33.5	9.2	3.1
	8月中旬 (参考)	本年								
		前年	16	0	0	0	12.5	12.5	0.4	0.1
		平年	17	0	0	1.1	16.2	17.3	1.6	0.6

注) 寄生指数：株当たり寄生数 甚 201頭以上、多 51～200頭、中 11～50頭、少 1～10頭

《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6 担当：佐藤主査

※当情報は、青森県農業情報サービスネットワーク「アップル農場：病害虫防除情報」
(<http://www.applenet.jp>) に掲載していますので、ご活用ください。